

# いっしょ

Vol. **114** 2018. 5 (隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>



撮影者：大城 靖彦  
(グループホームつつじ苑 開所式)



# 待望の施設が東村に完成!!

## 認知症対応型グループホーム「つつじ苑」開所

グループホーム つつじ苑



利用者へ花束贈呈

東村のみなさんが待ち望んでいた施設がここ、平良区に完成することができました。つつじ苑は目の前は太平洋海が一望でき、後ろには村民の森つつじ園が広がる自然豊かな場所にあります。四月二日より利用者さんを迎え生活もスタートしていますが、週に一回やんばるの家の方から看護師さんがグループホームへ出勤し利用者さんの健康観察、相談を貰い健康維持に努めています。日々、家族や地域の方々が見学をしていただく事で



開所当日スタッフと記念撮影

グループホームを知って頂く良い機会になっています。家庭的な雰囲気です。一人ひとりが出来ていることの継続が出来、地域との関りも切れることなく住み慣れた地域です。でも生活が送れる様、家族の一員として生活を共にしていきたいと思えます。アットホームなつつじ苑を目指しご家族や地域の方々のご協力を受けながら職員一同頑張っていますので今後ともよろしくお願います。管理者 平良芳美

### より良い利用者支援を目指して!

#### 法人職員研究活動報告会

平成三十年三月十三日に支援・介護の知識技術向上を目的に法人職員研究活動報告会を一心療護園会議室にて開催しました。

各施設代表者により課題や支援内容を研究分析し実践に活かした活動報告が行われました。

会場には地域の代表として大宜味村婦人会会長山城薫さん、法人第三者委員宮城準さんをお招きしました。

法人職員六十名以上の参加が有り職員の意識の高さが感じられ発表を聞きモチベーションアップにつながったと思います。

#### 発表内容

①えすの里 (就労センター)



発表に聞き入る法人職員



実践を熱く語る発表者

発表者 吉田卓也

テーマ「ONE FOR ALL FOR ONE」

②一心療護園

発表者 宮城翔子

テーマ「一年間の活動記録」

③やんばるの家

発表者 金城翼・石川和人

テーマ「汚名返上! 苦痛排便から始まった自然排便コントロール」

④えすの里

発表者 砂川和真

テーマ「強度行動障害者の支援対策」

⑤法人研修委員会

発表者 宮城武尚

テーマ「メンター制度実践報告」

# 大宜味村認知症初期集中支援チーム 発足!

【こんなことはありませんか……?】

外出時に持ち物を何度も確かめるようになった

約束の日時や場所を忘れてたり間違えるようになった

普段の慣れた道でも迷うことがある

料理・片づけ・計算・運転などのうっかりミスが多くなった

周りへの気遣いがなくなり頑固になった

服装や身だしなみを構わなくなった

## 対象者

- ・認知症の診断を受けていない、または治療を中断している方
- ・医療サービスや介護保険のサービスにつながらない、または中断している方
- ・認知症の症状で対応に困っている方 等

・支援センターやんばるの介護支援専門員(安里美紀、當眞景子)も大宜味村からチーム員に任命され一年間、活動を行う事になりました。  
地域で認知症を疑われる方が居られましたらご一報ください。

## 連絡先

事務局(大宜味村地域包括支援センター) ☎44-3011  
支援センターやんばる ☎44-2398

# 給食サービスの向上に向けて

## えすの里

えすの里では、前年度の給食会議において、調理で中心的に使用するガスオーブンの不具合により、給食業務が滞る等の課題が上がっております。

調理メニューの増加や、今まで外注に頼っていた行事食に手作りの料理を提供する事などを目的にスチームコンベクションオーブンを購入しました。

六段ある調理グリルを最大限活用し、利用者に喜ばれる給食などを提供します。



美味しく焼き上がった焼き魚♪

# 虐待防止を全体で共有

## えすの里

去った、三月十五日にえすの里拠点全体で、虐待防止研修会を開催しました。

事前に、全社協の「虐待防止の手引き(チェックリスト)」を全職員に配布し、事前にチェックを付けてもらい研修に参加して頂き、普段の利用者との関わりを皆で振り返る場となる事を目的とし、

グループワークを中心に行ないました。

初めに、沖縄県より示された「平成二十八年度沖縄県における障害者虐待の状況について」の資料を配布し、県内における虐待の状況を確認した後、各グループごとでチェック表を基に課題等を抽出し、発表して頂きました。



グループワークの様子



# ピクニック

## 小規模多機能ホーム いっしん

小規模いっしんを利用していただいている皆様に大宜味村以外の町をもっと見てもらいたくて、三月二日(水)・二日(木)二日間に分けてピクニック(ドライブ)に出かけました。

十一時に出発して、許田の道の駅でその日の調理当番といるる考えておいしく作った弁当を頂きました。

三十分程ゆんたくしながら休憩して本部半島向け出発、名護の市場を通過すると、「昔は市場に買い物をしてよく来たのに」と、懐かしみながら話される利用者もいました。そして、瀬底大橋を渡



じゅーしいーもおいしかったです



外での弁当は最高です。

るなり、「こんな大きな橋が沖繩にもあるんだね?」とびつくりされる方も。瀬底を巡り、おやつタイムは許田の道の駅で購入した、サーターアンダギーを大橋を眺めながらいただきました。皆さん会話ははずんどてもたのしそうでした。その後、今帰仁・屋我地回りで帰路へ。皆さんの感想を聞くと、「疲れたが楽しかった」「普段いけな所に行けてよかった」一番多かった感想が、「昼の弁当最高」「外で食べるご飯はおいしかったです」と、一番の楽しみはやはりお昼ご飯でした。

## 一心療護園

# ボランティア感謝の集い

平成三十年三月十六日(金)、今年で第八回目となる、ボランティア感謝の集いが開催されました。

利用者の皆さんが楽しく、施設生活を送れるよう、普段からボランティアの皆様を協力をお願いしており、その感謝の気持ちを利用者さん、職員一同で「辛い」という思いで催しています。

利用者さんの余興やカラオケ、職員余興で大いに盛り上がり、特にボランティアの皆様が一番、喜んで頂いたのが

## やんばるの家

# 浜下り

旧暦の三月三日にやんばるに家では正面玄関にて重箱とお菓子を供え、利用者を代表して仲村キヨさんにお祈りをして頂きました。開所当時は塩屋の浜辺や旧大宜味中学校前に出かけて浜下りをしていました。



皆が健康でありますように



正面玄関にて



お礼に手作りの絵手紙を贈呈

利用者さんの手作り絵手紙を一人一人に手渡した時でした。来年も継続してボランティア感謝の集いを開催していきたいと思えます。



療護園ボランティア



# あがり・DE・カフェ開催



あがりカフェ

小規模 あがり

四月十七日に地域の皆さんとの交流を兼ね、今回初めての試みで「あがりでカフェ」を開きました。手作りケーキを食べながら、楽しく昔話に花を咲かせていました。又慶佐次区老人会長の三線と利用者の太鼓に合わせ、皆さんで歌も歌いとても楽しい時間が流れていました。

宮城 智子

## 家族会総会

やんばるの家

四月八日(日曜日)に午前は大掃除を行い午後はデイサービスホールにて家族会総会を開催しました。大掃除は四七家族、九五名の方が掃除へ参加されました。総会も四五家族五二名の参加がありスムーズに終わることができました。役員の皆さま今年度もよろしくお願ひします。

大掃除!! 毎年ありがとうございます。  
 ございます。



大掃除の様子

## 平成29年度 慰労会 今年度もよく頑張りました!

就労センター えすの里



利用者の皆さんお疲れ様でした♪

役員の皆様よろしく  
 お願いします



幹事による監査報告

三月末日、就労センターでは、今年度最後の作業を終えた後、利用者さん、職員全員で、慰労会を催し、美味しいケーキとコーヒーを食べながら一年の労を皆で労いました。

今年度はわくわくプロジェクトを実行し新しい活動が沢山あり利用者さんからも充実した一年だったとの声が多く聞かれました。

授産活動に関しても、門松事業が出来ない等厳しい状況の中、受託や農産物の販売などを皆で頑張りました。次年度もそれぞれの目標に向かって頑張ります。



元気のでるおはなし  
わたしの  
ヒストリー



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。



介護支援センターやんばる利用者  
吉濱愛子さん(九十歳・喜如嘉)

「あいちゃんマチャー」  
(雑貨店)の思い出

子どもたちがまだ小さいころ八班(喜如嘉)の入り口の停留所のそばでマチャー(雑貨店)をしていました。一人でやっていたので小さい店でしたが何でも売りました。店は看板もなかったがオバー

ちが「アイちゃんマチャー」と呼んでくれていました。とにかく忙しく寝た覚えがないくらいでした。

そうめんや缶詰などの食品が主でした。野菜を持ってきてほかの食べ物と交換していく人もいました。豆腐はパール(班)のかたが作っては仕入れていました。その日のうちに売り切れるぐらいいしか仕入れませんでした。お菓子は蓋付きのビンに入れていましたが私が眼を話した離したときに子供たちがそのまま持つて行ってしまいました。「浜の木の下に置いて食べている」と他の子どもたちが私におしえるので浜に行ってみたら、いつペンには食べないで何度もまわってきて食べているようでした。「あんなことしないですね。自分が困るんだよ」と言われて聞かせました。これは私が悪い。子供に悪い癖つけて盗まず私が悪いと思いました。この子供たちは大きくなっても私に悪いと思つたのか隠れて私にみられまいとしていました。

冷蔵庫もない時代だったのでバケツに水を入れてコーラなんか飲み物を売っていました。年寄りは頭が痛い、子供に熱が出たと言つては水を分けてくれと人が来ていました。

あらかじめ水は多めに買って分けてあげていました。薬は免許が必要でとりました。酒は量り売りでした。マール酒(二番取り)を買う人が多かった。マール酒は安い飲みやすいからよく売れました。昆布やソーメンは斤(きん)作り(づくり)といつて計り売りしました。名護に行くときに仕入れもした。が卸屋の前で買った品物を持つて行かれたこともありました。

早く売るために他の売店より少し安い値段にしています。延買する人もいました。そんな時は自分で帳面に書かせていました。みんな金がない時代でした。

オバーたちが店番してくれ、道路ができて道より低くなつたので浸水して店はやめました。「店はやめるな」とオバーたちが引越した家まで来ていました。姑が餅の仕事をしていたのでユンタクすると数の間違ひするから来るな!と言つて帰っていました。

皆が座つてユンタクするのが楽しい明るい店でした。

「私たちは〇〇な職員になる」  
～法人新人職員研修～



グループワークも楽しく行いました

平成三十年  
度新任職員研修会が四月二十五日(水曜日)一心療護園会議室にて行われました。



グループ事に楽しく元気よく発表

グループワークでは、三グループ編成で「私たちの理想の法人職員像とは」をテーマにワークを展開、自分と向き合ってもらい、グループ内の理想の職員像を作成、最後は各グループで「私たちは〇〇な職員になる」と決意表明をしてもりました。

短い時間のワークでしたが、自分と向き合う、伝える、聴く、共感する、チームアプローチの体験を通して、具体的な目標を作る事が出来ました。最後まで和気あいあいとした雰囲気です。今回もとても良い研修になったと思います。



療護園酒造所巡り

平成三十年二月二十一日に大宜味の田嘉里区にある、やんばる酒造所見学に出掛けました。  
去年は、うるま市にある神村酒造所に次いで二番目の酒造所となります。やんばる酒造所の社長さんの案内で工場

**第二回  
酒造所見学**

**一心療護園**



バイタル良好

グループホームきじよかも開所二年目を迎え、この四月

**やったね♡  
看護師配置**

**グループホームきじよか**

内を見学し、泡盛の製造過程の話しを聞きました。  
その後は、試飲を楽しみ、お土産に泡盛の三合瓶を購入し施設へ戻りました。途中の車中では泡盛の話で花が咲きました。

あいにくの雨模様でしたがデイサービスでは四月十日十一日の二日間大宜味村喜如嘉の水田地帯(タープク)へオクラレルカの花見へ出かけました。  
今年の開花は大分早いとの事で見頃を過ぎている花

**オクラレルカ  
見物**

**デイサービス**

から看護師が配置されるようになりました。  
入居者の皆様がより安心して生活を送ることができるようにとのことです。きじよかつつじ苑の両グループホームに一週間に一度四時間の勤務に入っています。  
看護師さんに血圧測定をしてもらい、気になっていることがあれば直接相談することができるので、職員共々大変喜んでいます。  
入居者の皆様の安心安全と健康維持・増進を一緒に支えていきたいと思えます。

も多く有りました。雨の中しつとりと咲く一面紫の絨毯の景色に利用者の皆様は「きれいだね、凄いさ」と感動し花見を楽しまれました。  
又、利用者の山城マツ子さんの家族より沢山のオクラレルカの花の切り花を頂

旧暦三月三日は女の子の身を清め健康を祈願する伝統行事で各地域で行われていきます。昔は、一年で最も潮の満ち引きの大きい大潮のこの日は浜辺で潮干狩りや重箱に馳走を詰め込んで浜辺に集まってお重を食べるのが風習だったそうです。  
最近では潮干狩りに出る人も少なくなり浜辺ではなく海岸で集まり海に向かってウガシ(昆布と豚肉の串刺し)がふるまわれるそうです。  
デイサービスでも旧暦三月

**旧三月三日  
健康祈願**

**デイサービス**



写真で見るより綺麗だね～

きました。  
お土産に持ち帰った利用者は「この花大好き。挿し木できるかな」と話されとても喜ばれていました。



皆さんが健康でありますように

三日に利用者の宮里恵美子さんにウガンをお願いしました。酒、米、塩で厄を払い健康と安全を祈願しました。



認知症対応型 共同生活介護事業所  
グループホーム

# つつじ苑

平成30年4月開所 入居者募集



◇◇◇◇◇◇◇◇ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◇◇◇◇◇◇◇◇

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	29名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33名(1日)	2～3名	0名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	6名	0名
小規模多機能ホーム あがり (☎0980-43-2344)	25名	2名	0名
認知症対応型グループホーム きじょか (☎0980-44-3015)	9名	0名	0名
認知症対応型グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	3名	0名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

平成30年5月1日現在

**介護に関する**  
**困った** を共に考えます!

サービスや手続きの相談等受け付けます。

**介護支援センター やんばる**

**電話 0980-44-2398**

担当：安里・當眞

お気軽に  
お電話下さい!